

# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2019

## 熊本県育成の温州ミカン「熊本EC11」はシートマルチ栽培により高品質な果実が生産できる



写真 「熊本EC11」のシートマルチ栽培

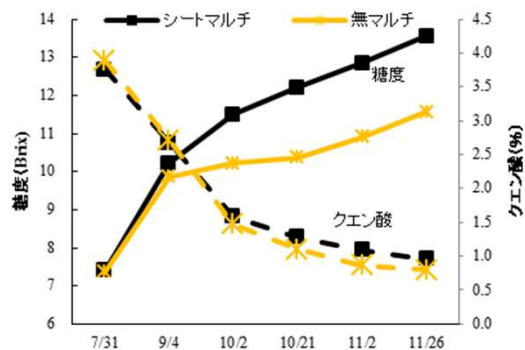


図 シートマルチ栽培における果実品質の推移

### 問 研究のねらいは？

答 温州ミカンでは、最需要期である12月に出荷できる「熊本EC11」を育成し普及しています。ただ、近年、秋季の長雨によって糖度が低下しやすい傾向にあるため、高品質果実を安定して生産できるシートマルチ栽培技術を確立しました。

### 問 研究の成果は？

- 答
- ① 8月上旬からシートマルチを開始し、9月上旬で糖度9.5程度になるよう樹体に水分ストレスを付与することで、収穫時(11月下旬)の糖度は12.5以上になります。
  - ② シートマルチをすることで果実肥大は緩やかとなり、収穫時の果実階級は、Mサイズ中心となります。

### 問 栽培または普及するうえで注意する点は？

- 答
- ① 水分ストレスが強くなるとクエン酸濃度も高くなるため、定期的に果実品質を確認してください。
  - ② 果実品質向上のため、エチクロゼート(フィガロン乳剤)を散布すると効果が高まります(1回目:7月下旬頃、2回目:8月中旬頃)。ただし、2回目は天候や果実品質を考慮し散布してください。
  - ③ 着果が少ない樹では、芽かきやジベレリン処理を行ってください。